

劇場 I 『プロローグ』

2022年12月25日-26日

中野テルブシヨール

〒164-0001 東京都中野区中野 3-49-15 1F

ごあいさつ

みなさんは劇場に足を運ぶとき何を楽しみに行きますか？

私は俳優を観に行きます。その人が人物をどう演じるのか、どう舞台の上に立っているのか、どんな息遣いで、どんな声を出すのか、何に執着して、何を投げ出しているのか、その人はなぜ舞台に立たなければならないのか？演じることを通して見えるその人そのものと、劇を通してそれが変異したり、拡大したりする様を観たいと思います。演劇に限らず、スポーツでも、ミュージシャンでも、画家でも、小説家でも、何かに打ち込む人は必ずパフォーマンスや作品にその切実さが滲み出るものだと思います。そういう泥臭さ、人間臭さを感じる芝居を作りたいと思いました。

私は、俳優は0から1を生み出す人ではないということにコンプレックスを感じ続けてきました。演劇をやりたいけど、演劇で何をやりたいのがわからない。でもゲッコーパレードで活動する中で、劇場ではない場所での上演をたくさん経験し、コロナ禍では人が集まらないという演劇にとっては絶望的な状況の中、そもそも演劇とは何なのかを改めて考え、ようやく自分が演劇の何を信じているのかということが見えてきました。俳優は作家的な生みの苦しみは知らないけれど、舞台に立って身体を動かし、言葉を発するその行為自体、その一瞬一瞬を俳優は生み出していると思います。そしてそこにその人である意味や切実さがある。作品は個人のものであるべきではないけれど、でも作った人の人間に触れるとき、観ている人の心にも迫るものがあるのではないかと思います。

劇場という場所は、ただ演劇をやる場所ではなくて、お客さんを含め人間同士が会って、共感したり不快になったり、様々な思いが交錯する場所です。そしてそれが幾度となく繰り返されてきた、その歴史を知っている場所です。劇場でやりたいというのは、そういう、かつて熱を帯びた空っぽの空間に魅力を感じるからです。

「劇場で俳優を観る芝居を作りたい」

これが全ての出発点であり、これからのこのシリーズを貫くテーマです。私が演劇と出会ったのは偶然ですが、作る過程でも、本番も、どうしたって人と関わらざるを得ないものだという事は、人間が苦手だけど愛おしいと思う私にとって必然だったのかもかもしれません。

本日はご来場ありがとうございます。

主宰 崎田ゆかり

女が劇場にやってくる。女は荷物を抱えている。女は劇場を見渡す。そこには床と、壁と、客席があった。女は劇場を知っている。女はこの劇場に来るのは初めてだ。ここではこれまで多くの上演が行われ、多くの観客で賑わった。今は客席には誰もいない。女は俳優ではない。女は次第に、自分が抱えてきた荷物と想いを劇場に広げる。

――女は今日自分の身に何かが起こる予感がしている。

主宰・脚本・出演：崎田ゆかり
演出：黒田瑞仁

衣装：YUMIKA MORI
音楽：Vegetable Record
本間志穂

振付：市松
照明：鈴木麻友
小道具制作：柴田彩芳
音響効果：富山雅之
舞台監督：山崎牧

宣伝デザイン：石原絵梨
宣伝写真、写真撮影：瀬尾憲司
映像撮影：飯名尚人
当日パンフレット：石原葉
制作：河島琴音、林純平、出崎洋樹

次回の子定

ゲッコーパレード 演劇上演
劇場 II
2022年度に計画中！

河島琴音 企画・制作
音楽映像作品
『マリimba・ネリネリ in いはま』（企画・演奏：野木青依）
愛媛県新居浜市内をマリimbaと一緒にネリ歩いたプチ・ロードムービーです。
3月上旬 YouTube にて公開予定。

Vegetable Record
Twitter：@vegetablesthe
HP：vegetablerecord.com
にて告知します。

柴田彩芳
Instagram：@saihoushibata
にて告知します。

ゲッコーパレードは「目的ではなく人の集まりこそがパレードのように活動や表現を形成していく」という信条から名付けられました。その私たちのもとにたくさんの方が集まってくださり、『病』という形のパレードができがありました。パレードに参加してくれた方、サポートしてくれた方、そして、観客であるあなたに。この場を借りてお礼申し上げます。

【パレードの参加者】

崎田ゆかり 黒田瑞仁 市松 YUMIKA MORI Vegetable Record（林翔太郎、三上僚太） 本間志穂 鈴木麻友 柴田彩芳 富山雅之 山崎牧 石原絵梨 瀬尾憲司 飯名尚人 石原葉 松岡和子 森の家一同さま 河島琴音、林純平、出崎洋樹 五藤真 佐々木敦 河野桃子 林家彦三 中野テラブシコール、カンフェティ、旧加藤家住宅 観客のみなさま

プチ・パトロンチケット収益利用報告

プチ・パトロンチケット収益を、以下の用途に利用させて頂きました。
○2016年5月31日 音響機材（アナログミキサー）購入費として11,664円
○2016年8月24日 照明協力スタッフ人件費（一部）として20,000円
○2016年12月21日 オルガン運搬費として21,698円
○2017年9月28日 照明借用費として56,492円
○2018年2月26日 照明機材購入費として84,432円
○2018年9月18日 音響スピーカー購入費として19,224円
○2019年8月17日 客席用クッション購入費として9,990円
○2021年12月 劇場稽古使用料として12,000円

Web: <http://geckoparade.com/>
E-mail: geckoparade@gmail.com

〒335-0003 埼玉県蕨市南町 2-8-2 旧加藤家住宅

主催：ゲッコーパレード
後援：蕨市



WEB アンケートのご協力をお願いします。



新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にご協力ください。

- ・携帯電話の電源は切らずにマナーモードや機内モードにし、bluetoothはONにしたまま接触確認アプリ（COCOA）をご利用ください。
- ・チケット購入時に取得した個人情報、会場内で感染者が発生した際に保健所に提出する場合があります。ご了承ください。
- ・会場内では、常時マスクを正しく着用し、他のお客様と十分な距離（最低1m）をお取りください。
- ・お客様同士の近距離での会話はお控えください。また、近隣の方のご迷惑にならないよう、会場入口前でのご歓談もお控えください。
- ・出演者、スタッフの検温ならびに体調確認を日々行っています。
- ・出演者、スタッフのこまめな手洗い、手指の消毒を徹底しています。